

テクノプロ・グループ 決算説明資料 (2021年6月期 第2四半期)

テクノプロ・ホールディングス株式会社（証券コード：6028）

2021/2/2

目次

	Page
I : 業績概要	2
II : KPI分析	6
i : 技術者数・稼働率	6
ii : 売上単価	10
III : 海外子会社の状況	11
IV : 業績予想	12
V : 株主還元	14
VI : Appendix	15
VII : データ資料集	19

2021年6月期 第2四半期 業績概要

- FY21.6上半期の売上高は**794億円**で前年同期比0.5%の増加、営業利益は**96.8億円**（うち、国内雇用調整助成金13.3億円含む）で同17.7%の増加、事業利益は**82.9億円**（雇調金等の特別項目を除く）で同2.2%の増加、当期利益は**66.2億円**で同17.1%の増加
- FY21.6上半期の売上総利益率が前年同期比で**2.1pt悪化**したのは、主に、稼働率低下によるスタンバイコスト増で0.7pt、稼働時間減少による売上単価減で0.6pt、有給休暇消化率上昇による有休引当金増加で0.5ptの影響を受けた一方、継続的なコスト削減努力により、販管費率は前年同期比で**2.3pt改善**し、事業利益率は前年同期をわずかに上回る水準を維持

(百万円)

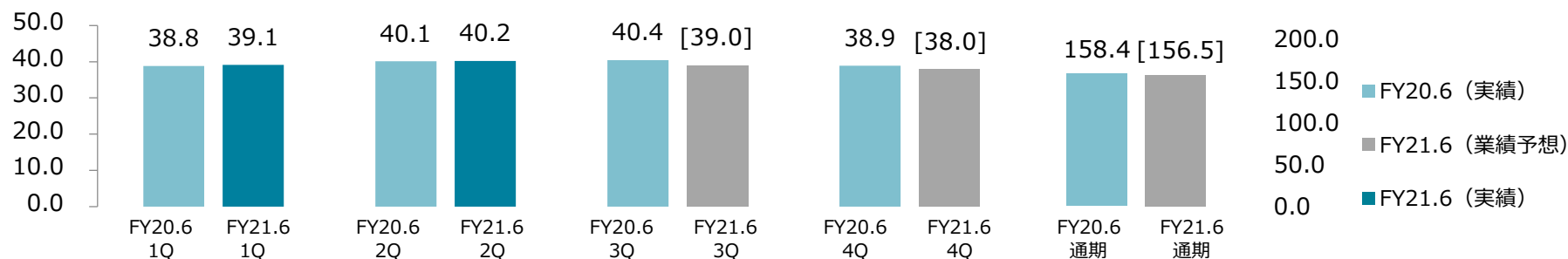
項目	第2四半期（単期）				上半期					通期		
	FY20.6 (実績)	FY21.6 (実績)	前年同期比		FY20.6 (実績)	FY21.6 (実績)	進捗率	前年同期比		FY20.6 (実績)	FY21.6 (予想)	前年比
売上高*	40,141	40,256	+115	+0.3%	79,037	79,451	50.8%	+414	+0.5%	158,407	156,500	△1.2%
売上総利益	10,559	9,631	△928	△8.8%	20,106	18,523	—	△1,582	△7.9%	40,226	—	—
売上総利益率	26.3%	23.9%	△2.4pt		25.4%	23.3%		△2.1pt		25.4%		
販売費及び一般管理費	6,144	5,191	△952	△15.5%	11,994	10,231	—	△1,762	△14.7%	23,960	—	—
対売上高比率	15.3%	12.9%	△2.4pt		15.2%	12.9%		△2.3pt		15.1%		
事業利益	4,415	4,439	+24	+0.6%	8,111	8,291	—	+179	+2.2%	16,265	—	—
事業利益率	11.0%	11.0%	+0.0pt		10.3%	10.4%		+0.2pt		10.3%		
その他の収益	80	935	+854	—	191	1,515	—	+1,323	—	649	—	—
その他の費用	158	51	△107	—	82	126	—	+44	—	1,143	—	—
営業利益	4,337	5,323	+986	+22.8%	8,221	9,680	56.9%	+1,459	+17.7%	15,772	17,000	+7.8%
営業利益率	10.8%	13.2%	+2.4pt		10.4%	12.2%		+1.8pt		10.0%	10.9%	
税引前当期利益	4,315	5,333	+1,017	+23.6%	8,191	9,645	57.1%	+1,453	+17.7%	15,843	16,900	+6.7%
当期利益*	2,996	3,651	+655	+21.9%	5,654	6,623	57.6%	+968	+17.1%	10,825	11,500	+6.2%
当期利益率	7.5%	9.1%	+1.6pt		7.2%	8.3%		+1.2pt		6.8%	7.3%	
1株当たり当期利益（円）	82.94	101.70	+18.76	+22.6%	156.35	184.45	57.6%	+28.10	+18.0%	299.97	320.25	+6.8%
1株当たり配当金（円）	—	—	—	—	50.00	50.00	31.1%	0.00	0.0%	150.00	161.00	+7.3%

四半期推移

- 主にCOVID-19の影響により、FY21.6 2Q単期の1日当たり国内稼働時間は**8.47時間**（前年同期比 △0.09時間、△1.0%）

売上高

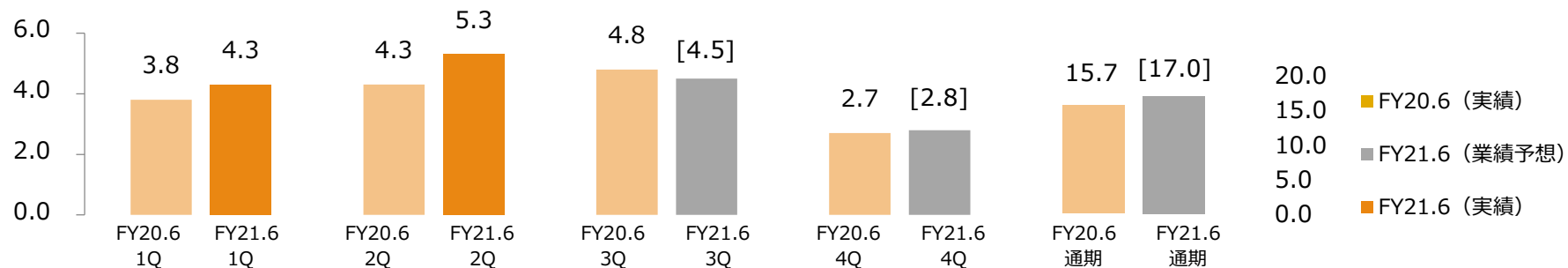
（十億円）



通期進捗率	24.6%	[25.0%]	25.3%	[25.7%]	25.5%	[24.9%]	24.6%	[24.3%]		
国内稼働日数*	56.5	56.2	58.1	58.6	55.8	[56.0]	56.7	[57.1]	227.1	[227.9]
1日当たり国内稼働時間*	8.56	8.44	8.56	8.47	8.56	[8.44]	8.39	[8.34]	8.52	[8.42]
前年同期比	+0.8%		+0.3%		[△3.6%]		[△2.2%]		[△1.2%]	

* 主要な国内子会社2社（テクノプロ社、テクノプロ・コンストラクション社）

営業利益



通期進捗率	24.6%	[25.6%]	27.5%	[31.3%]	30.7%	[26.5%]	17.1%	[16.6%]		
営業利益率	10.0%	11.1%	10.8%	13.2%	12.0%	[11.5%]	6.9%	[7.4%]	10.0%	[10.9%]
前年同期比	+12.2%		+22.8%		[△7.2%]		[+4.4%]		[+7.8%]	

2021年6月期 第2四半期（累計） セグメント別業績

- セグメントの区分けについては、Appendix）セグメント表を参照

（百万円）

項目	R&Dアウトソーシング				施工管理アウトソーシング				国内その他				国内小計			
	FY19.6 1H	FY20.6 1H	FY21.6 1H	前年同期比	FY19.6 1H	FY20.6 1H	FY21.6 1H	前年同期比	FY19.6 1H	FY20.6 1H	FY21.6 1H	前年同期比	FY19.6 1H	FY20.6 1H	FY21.6 1H	前年同期比
売上高	55,861	62,676	63,304	+1.0%	8,602	9,768	9,919	+1.5%	1,499	2,044	1,699	△16.9%	65,963	74,488	74,923	+0.6%
連結売上高に占める割合	79.7%	79.3%	79.7%		12.3%	12.4%	12.5%		2.1%	2.6%	2.1%		94.1%	94.2%	94.3%	
営業利益	5,544	6,431	7,704	+19.8%	1,069	1,157	1,565	+35.3%	160	262	26	△90.0%	6,775	7,850	9,296	+18.4%
営業利益率	9.9%	10.3%	12.2%		12.4%	11.8%	15.8%		10.7%	12.8%	1.5%		10.3%	10.5%	12.4%	
PPA資産償却前営業利益*	5,584	6,471	7,745	+19.7%	1,069	1,157	1,565	+35.3%	160	262	26	△90.0%	6,815	7,890	9,336	+18.3%
PPA資産償却前営業利益率	10.0%	10.3%	12.2%		12.4%	11.8%	15.8%		10.7%	12.8%	1.5%		10.3%	10.6%	12.5%	
うちPPA資産償却費	40	40	40	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	40	40	40	0.0%
うち減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
技術者数（期末時点、人）	15,350	17,365	17,590	+1.3%	2,288	2,647	2,599	△1.8%	—	—	—	—	17,638	20,012	20,189	+0.9%
うち日本在住外国籍（人）	816	1,042	912	△12.5%	51	69	94	+36.2%	—	—	—	—	867	1,111	1,006	△9.5%

項目	海外				報告セグメント合計				全社/消去				連結合計			
	FY19.6 1H	FY20.6 1H	FY21.6 1H	前年同期比	FY19.6 1H	FY20.6 1H	FY21.6 1H	前年同期比	FY19.6 1H	FY20.6 1H	FY21.6 1H	前年同期比	FY19.6 1H	FY20.6 1H	FY21.6 1H	前年同期比
売上高	4,692	5,291	5,187	△2.0%	70,655	79,780	80,111	+0.4%	△541	△742	△659	—	70,114	79,037	79,451	+0.5%
連結売上高に占める割合	6.7%	6.7%	6.5%		100.8%	100.9%	100.8%		△0.8%	△0.9%	△0.8%		100.0%	100.0%	100.0%	
営業利益	474	353	433	+22.7%	7,250	8,203	9,729	+18.6%	136	17	△49	—	7,386	8,221	9,680	+17.7%
営業利益率	10.1%	6.7%	8.3%		10.3%	10.3%	12.1%		—	—	—		10.5%	10.4%	12.2%	
PPA資産償却前営業利益*	564	455	534	+17.5%	7,379	8,346	9,871	+18.3%	136	△42	△49	—	7,516	8,303	9,822	+18.3%
PPA資産償却前営業利益率	12.0%	8.6%	10.3%		10.4%	10.5%	12.3%		—	—	—		10.7%	10.5%	12.4%	
うちPPA資産償却費	89	102	101	△0.5%	129	142	141	△0.4%	—	—	—	—	129	142	141	△0.4%
うち減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うちPO債務変動損益・早期行使益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60	—	—	—	60	—	—
うちEarn-Out債務変動損益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
技術者数（期末時点、人）	1,623	1,544	1,646	+6.6%	19,261	21,556	21,835	+1.3%	—	—	—	—	19,261	21,556	21,835	+1.3%

* PPA資産償却前営業利益：営業利益に、M&A時のPurchase Price Allocation（PPA）によって生じた顧客関連資産の償却額、減損損失、Put Option（PO）債務変動損益・早期行使益、Earn-Out（EO）債務変動損益を加減算したもの（以下同じ）

2021年6月期 第2四半期 B/SとCFの状況

- 2020年9月に調達したシンジケートローン**100億円**（5年均等返済）による既存借入金のリファイナンスは完了し、2020年12月以降、当該シンジケートローンについて3ヶ月ごとに5億円（年当たり20億円）の元本返済を予定
- 運転資金目的のコミットメントライン枠の合計**120億円**（月商の**0.9ヶ月分**）により、万が一に備えた財務余力を確保

FY21.6 2Q末 B/S (十億円)

現預金 27.4	借入金 9.5
	IFRS第16号関連負債 9.3
IFRS第16号関連資産 9.3	その他負債 34.0
のれん 36.1	Put Option債務 2.9
無形固定資産（PPA） 1.7	資本合計 52.9
その他資産 34.1	

資産合計 108.6

負債及び資本合計 108.6

ネットキャッシュ： **179億円**

資本比率*： **48.7%**

D/E レシオ*： **0.18倍**

D/営業利益レシオ**： **0.56倍**

TECHNOPRO

* 資本合計には、非支配持分を含む

** 営業利益は、通期ガイダンスを使用

FY21.6 1H CF (百万円)

・ 営業CF	10,641
うち法人所得税支払	△2,693
・ 投資CF	△927
・ 財務CF	△5,107
うちIFRS第16号関連リース負債の返済***	△3,342
うち借入金の調達・返済（ネット）	+1,841
うち配当金支払	△3,606
現預金増減額	+4,629

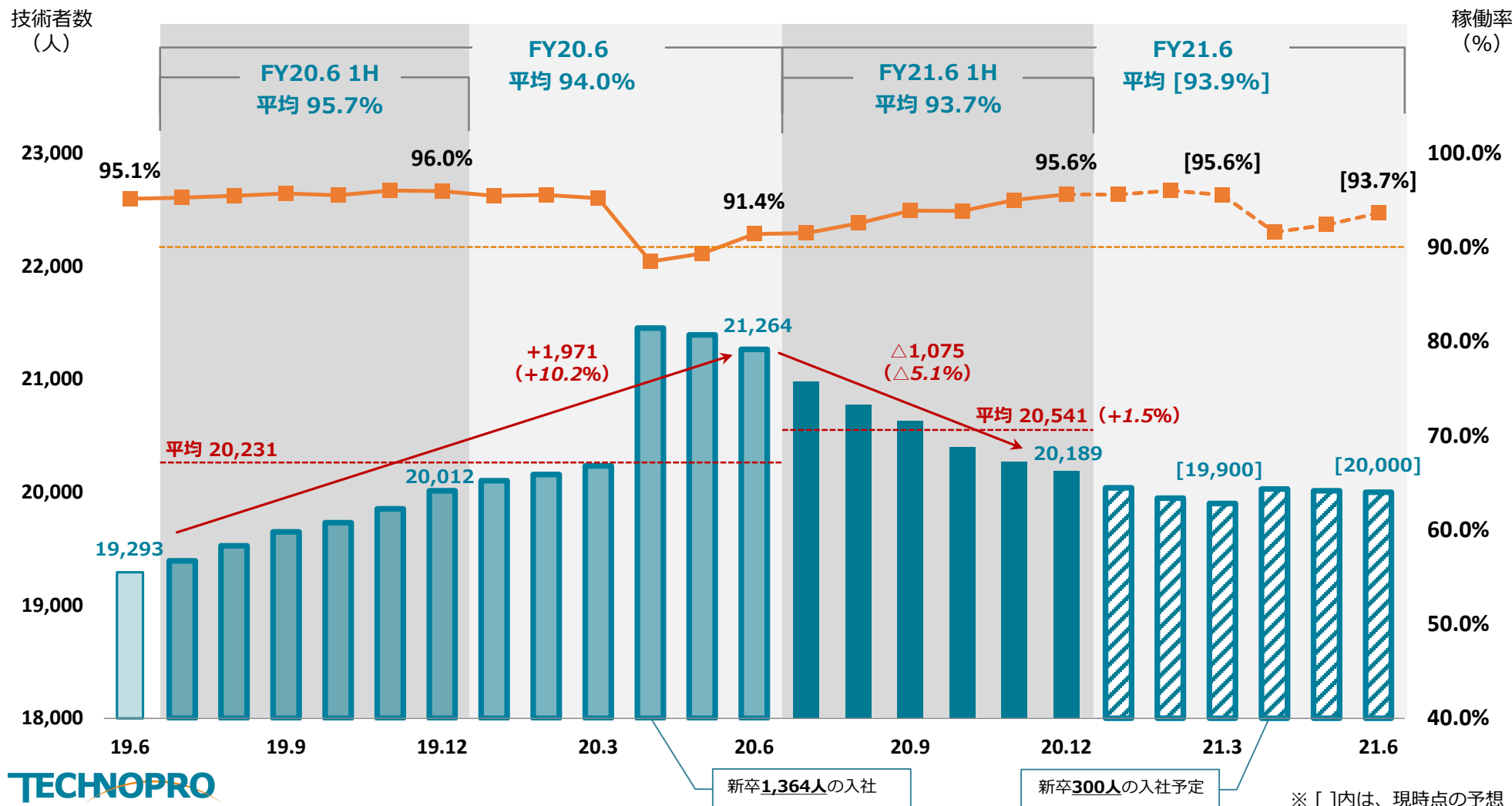
*** FY19.6まで賃借料支払として営業CFでカウントされていたものが、財務CFで計上

コミットメントライン (百万円)

資金使途	借入枠	実行残高	未実行残高	期限
1 運転資金	10,000	0	10,000	2021年6月
2 運転資金	1,000	0	1,000	2021年9月
3 運転資金	1,000	0	1,000	2021年10月
4 M&A	10,000	0	10,000	2021年6月
合計	22,000	0	22,000	

技術者数・稼働率の推移（国内）

- FY21.6 2Q末の国内技術者数は**20,189人**（FY20.6末比 △1,075人）、うち日本在住外国籍は**1,006人**（FY20.6末比 △172人）
- FY21.6上半期の平均稼働率は**93.7%**（前年同期比 △1.9pt）、通期の平均稼働率は**93.9%**を見込む（前年比 △0.1pt）

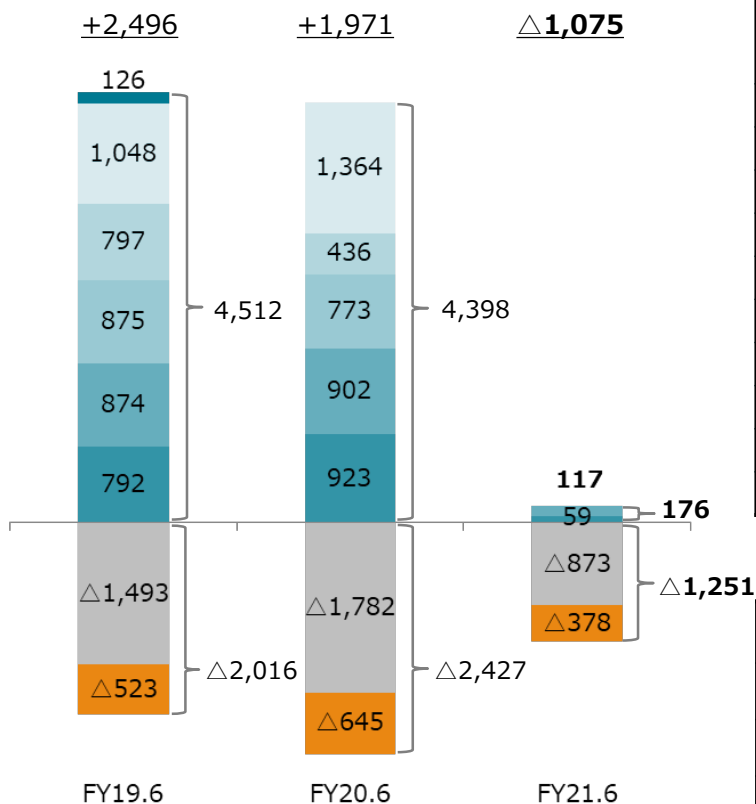


採用/退職の推移（国内）

- FY21.6上半期の中途採用数は、COVID-19に備えた採用抑制により、**176人**（前年同期比 △1,649人、△90.4%）
- FY21.6上半期の退職者数は**1,251人**、うち正社員は**873人**（前年同期比 +63人）、契約社員は**378人**（前年同期比 +82人）
- FY21.6上半期の正社員退職率*は**8.5%**（前年同期比 +0.3pt）、LTMベースでは**8.9%**（前年同期比 +0.2pt）
- FY21.6上半期の純増減数は△**1,075人**となり、退職抑制と中途採用再開によるリソースの拡充に引き続き注力

純増減数

(人)



採用数/退職者数の推移

(人)

	FY19.6	FY20.6	FY21.6 1H	前年同期比	
全採用数	4,512	4,398	176	—	—
M&Aによる技術者獲得	126	0	—	—	—
新卒採用	1,048	1,364	—	—	—
第4四半期中途採用	797	436	—	—	—
第3四半期中途採用	875	773	—	—	—
第2四半期中途採用	874	902	117	△785	△87.0%
第1四半期中途採用	792	923	59	△864	△93.6%
全退職者数	2,016	2,427	1,251	—	—
正社員	1,493	1,782	873	—	—
契約期間満了者等	523	645	378	—	—

正社員退職率*の推移

	FY19.6				FY20.6				FY21.6			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
四半期	8.0%	6.7%	10.6%	8.0%	8.6%	7.8%	8.6%	10.1%	8.8%	8.2%	—	—
今期累計(YTD)	—	7.3%	8.5%	8.3%	—	8.2%	8.3%	8.8%	—	8.5%	—	—
直近12ヶ月累計(LTM)	8.0%	7.9%	8.2%	8.3%	8.5%	8.7%	8.3%	8.8%	8.9%	8.9%	—	—

* 正社員退職率には、契約社員の契約期間満了による退職を含まず

『技術領域別』稼働技術者数（国内）

- 機械、電気・電子（メカ系）領域において、前年同期比で稼働技術者数が減少に転じ、その他の技術領域も全般的に伸び率は鈍化傾向（稼働技術者数は、FY20.6末比で138人減少、FY21.6 1Q末比で69人減少）
- IT技術者の占める割合は半数を超えて増え続ける一方、需要低迷を受けてメカ系技術者の割合は減少傾向

FY20.6 2Q末

稼働技術者数：19,205人

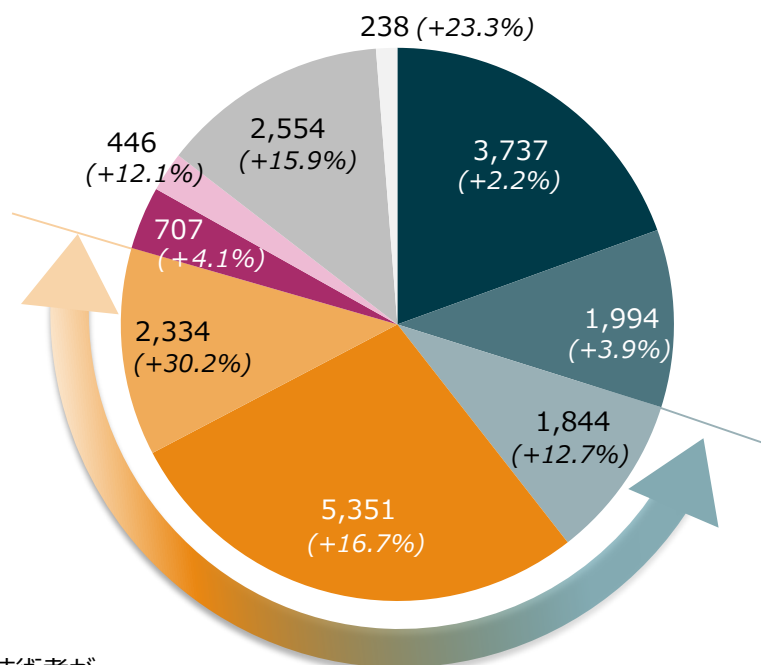
+0.5%

+100人

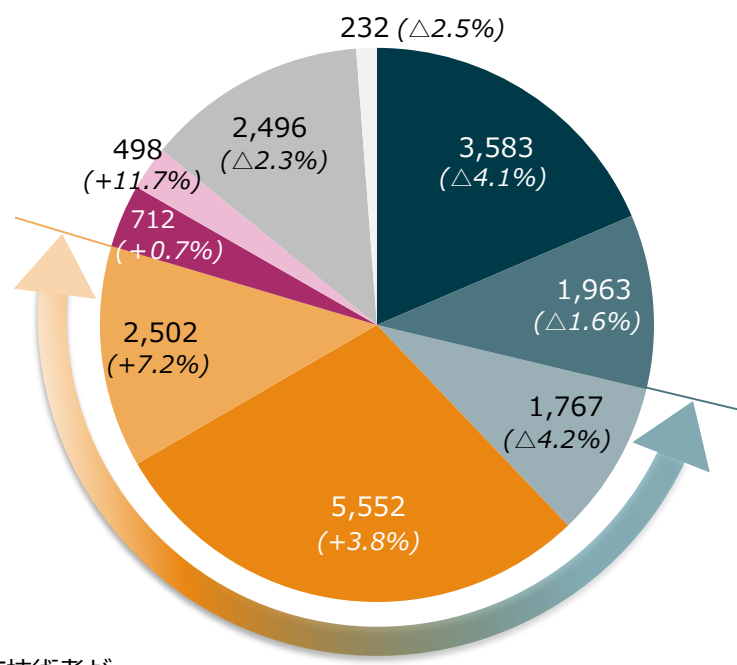
FY21.6 2Q末

稼働技術者数：19,305人

(人)



IT技術者が
占める割合：49.6%（9,529人）



IT技術者が
占める割合：50.9%（9,821人）

- 機械
- 電気・電子
- 組込制御
- ソフト開発/保守
- ITインフラ
- 化学
- バイオ
- 建設
- その他

『産業分野別』稼働技術者数（国内）

- 輸送用機器の自動車完成車メーカーの需要は復調気味であるものの、部品メーカーの需要は依然厳しい状況が続く
- 半導体に関連した産業用機械や電子部品などは復調傾向
- 情報産業は比較的堅調だが、求められるスキルは上昇しつつあり、在籍技術者への教育投資と経験豊富な人材の中途採用に注力

FY20.6 2Q末

稼働技術者数：19,205人

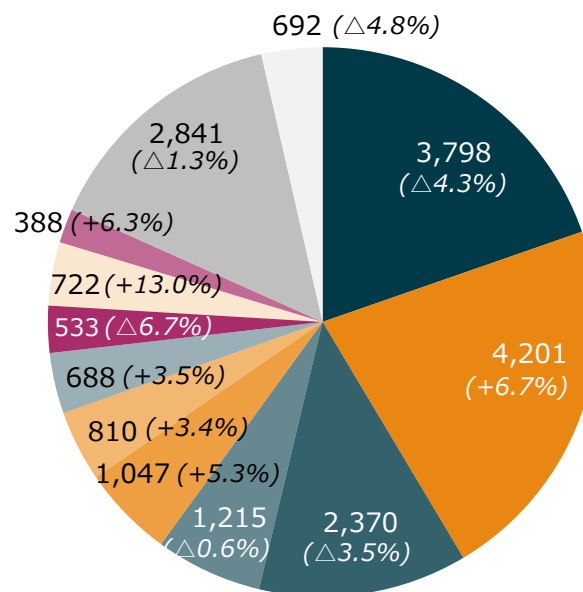
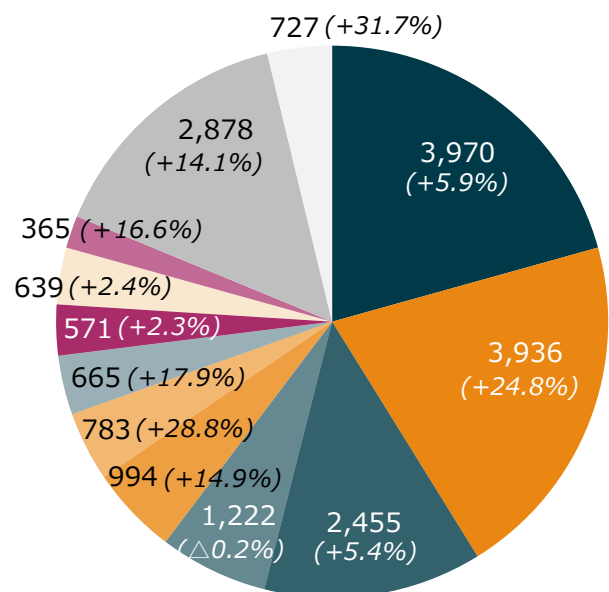
+0.5%

+100人

FY21.6 2Q末

稼働技術者数：19,305人

(人)

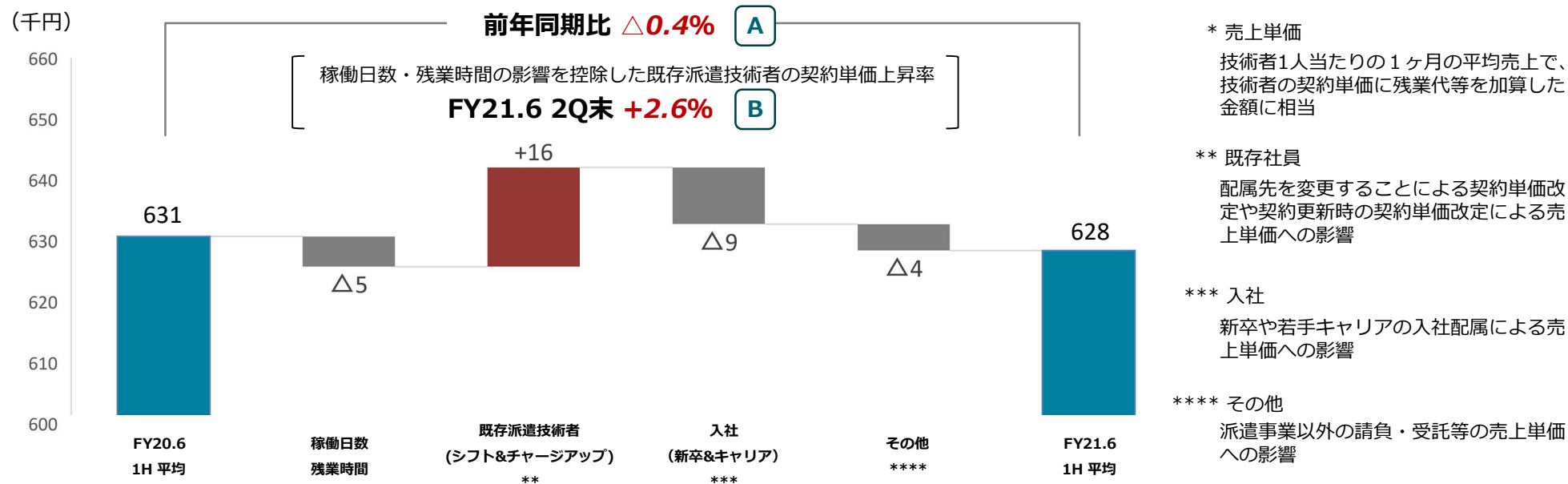


- 輸送用機器
- 情報産業
- 産業用機械
- 電子部品
- 電力/ガス/公共
- 民生品
- 医療用機器
- 素材・材料
- 金融・証券
- 医薬・化成品
- 建築・プラント
- その他

月次平均売上単価の推移

主要な国内子会社2社（テクノプロ社、テクノプロ・コンストラクション社）

- FY21.6上半期の月次平均売上単価*は **628千円**（前年同期比 $\Delta 2$ 千円/月、 $\Delta 0.4\%$ ）
- 稼働日数増（ $+0.04$ 日/月）・残業時間減（ $\Delta 2.06$ 時間/月）の結果、 $\Delta 5$ 千円/月の売上単価減少
- シフトアップ/チャージアップ戦略による既存派遣技術者の契約単価（ベースチャージ）上昇により、 $+16$ 千円/月の売上単価増加
- 新卒及び若手キャリアの入社配属により、 $\Delta 9$ 千円/月の売上単価減少



過去実績

項目	FY20.6				FY21.6			
	1Q	2Q (累計)	3Q (累計)	4Q (累計)	1Q	2Q (累計)	3Q (累計)	4Q (累計)
月次平均売上単価 (千円)	626	631	633	630	620	628	—	—
前年同期比 A	$+0.8\%$	$\Delta 0.3\%$	$+0.3\%$	$\Delta 0.1\%$	$\Delta 1.0\%$	$\Delta 0.4\%$	—	—

スナップショット	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末
既存派遣技術者 契約単価上昇率 B	$+3.6\%$	$+3.4\%$	$+3.0\%$	$+3.7\%$	$+3.4\%$	$+2.6\%$	—	—
※ 各四半期末時点の前年同期比								

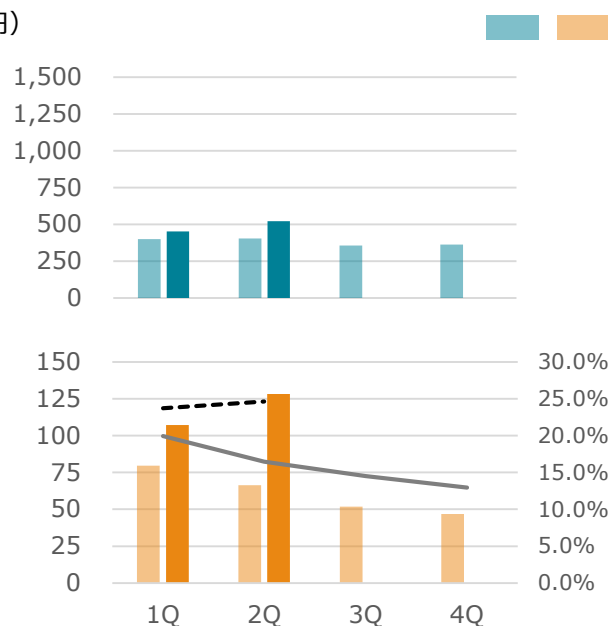
海外子会社の状況

テクノプロ中国

(百万円)

売上高

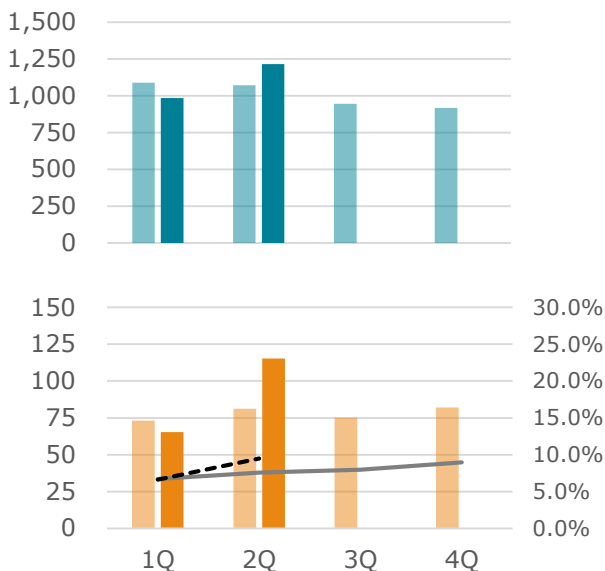
営業利益*



- FY21.6 1Q以降、液晶製造装置関連業務を中心に業績が急回復し、FY21.6の営業利益は、前年対比で約30%の成長を見込む
- 日本企業の受託開発のオフショアリング業務、日本企業の中国現地法人に対する業務の双方において需要が増加し、営業利益率の向上に寄与

Helius社 (シンガポール/インド/タイ)

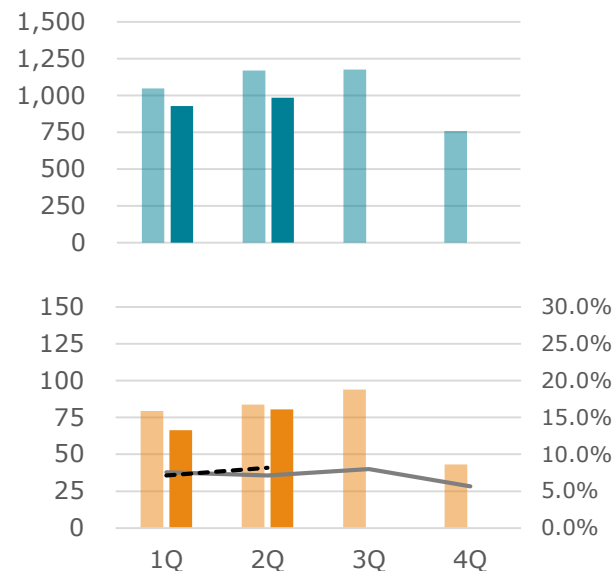
FY20.6実績



- シンガポールは、ローカル人材の採用や先端技術への先行投資で、FY21.6 1Qの利益率はいったん低下したが、売上・技術者数は底を打つ
- タイの立ち上がりは遅れているものの、インドは既存顧客の拡充と新規顧客の開拓も進み、FY21.6の売上は、前年対比で約35%の成長を見込む

Orion社 (イギリス)

FY21.6実績



* 営業利益はPPA資産償却前、折れ線グラフは利益率を示す

- FY20.6 4Qに底を打ち、FY21.6 1Q以降は回復基調にあるものの、成長過程にあった前年度にはまだ及ばず、イギリスのCOVID-19感染拡大は3Q以降のリスク要因
- 高マージンの人材紹介事業はボラティルで不安定な状態が続くが、経費コントロールで一定の利益率確保を目指す

2021年6月期 業績予想（通期）

- COVID-19の再度の感染拡大を受け、今後の見通しについて予断を許さない状況が続くと思われるものの、上半期の実績及び現時点で入手可能な情報に基づき、通期の業績予想について合理的な範囲で算定
- 2021年3月の契約更新率を**87.8%**（前年同月比 △1.5pt）と想定して、FY21.6 4Qの業績や主要KPIを予想（但し、契約更新率の結果次第で大きく変動する可能性）
- 雇用調整助成金はFY21.6 3Q以降に3億円、通期で**16.3億円**の計上を見込んでおり、今回の業績予想には当該見込み額を反映済み

（百万円）

項目	第3四半期（単期）				第4四半期（単期）				通期			
	FY20.6 （実績）	FY21.6 （予想）	前年同期比		FY20.6 （実績）	FY21.6 （予想）	前年同期比		FY20.6 （実績）	FY21.6 （予想）	前年比	
売上高	40,453	39,000	△1,453	△3.6%	38,916	38,049	△867	△2.2%	158,407	156,500	△1,907	△1.2%
営業利益	4,848	4,500	△348	△7.2%	2,701	2,820	+118	+4.4%	15,772	17,000	+1,227	+7.8%
営業利益率	12.0%	11.5%	△0.4pt		6.9%	7.4%	+0.5pt		10.0%	10.9%	+0.9pt	
税引前当期利益	4,897	4,450	△447	△9.1%	2,754	2,806	+51	+1.9%	15,843	16,900	+1,056	+6.7%
当期利益	3,325	3,000	△325	△9.8%	1,845	1,878	+32	+1.8%	10,825	11,500	+674	+6.2%
当期利益率	8.2%	7.7%	△0.5pt		4.7%	4.9%	+0.2pt		6.8%	7.3%	+0.5pt	
1株当たり当期利益（円）	92.09	83.54	△8.55	△9.3%	51.39	52.29	+0.89	+1.8%	299.97	320.25	+20.28	+6.8%
1株当たり配当金（円）	—	—	—	—	—	—	—	—	150.00	161.00	+11.00	+7.3%

主要KPI	第3四半期（単期）				第4四半期（単期）				通期			
	FY20.6 （実績）	FY21.6 （予想）	前年同期比		FY20.6 （実績）	FY21.6 （予想）	前年同期比		FY20.6 （実績）	FY21.6 （予想）	前年比	
国内技術者数（期末時点）	20,234	19,900	△334	△1.7%	21,264	20,000	△1,264	△5.9%	21,264	20,000	△1,264	△5.9%
平均稼働率	95.4%	95.8%	+0.4pt	—	89.8%	92.6%	+2.8pt	—	94.0%	93.9%	△0.1pt	—
月次平均売上単価（千円）*	638	630	△8	△1.3%	620	620	0	0.0%	630	626	△4	△0.6%

参考）セグメント別業績予想（通期）

- ・ R&Dアウトソーシング：上半期の稼働率悪化により売上総利益は減少するが、雇調金収入もあり、前年を上回る営業利益を想定
- ・ 施工管理アウトソーシング：技術者数の減少によって若干の減収となるが、コスト削減効果が先に効いて、高い営業利益率を維持
- ・ 国内その他：人材紹介事業の苦戦により減収減益を予想するが、引き続きコストコントロールに努めて黒字確保を目指す
- ・ 海外：上半期は、売上・利益ともにガイダンスを上回って着地し、通期でも、中国事業の成長期待により増収増益を見込む

(百万円)

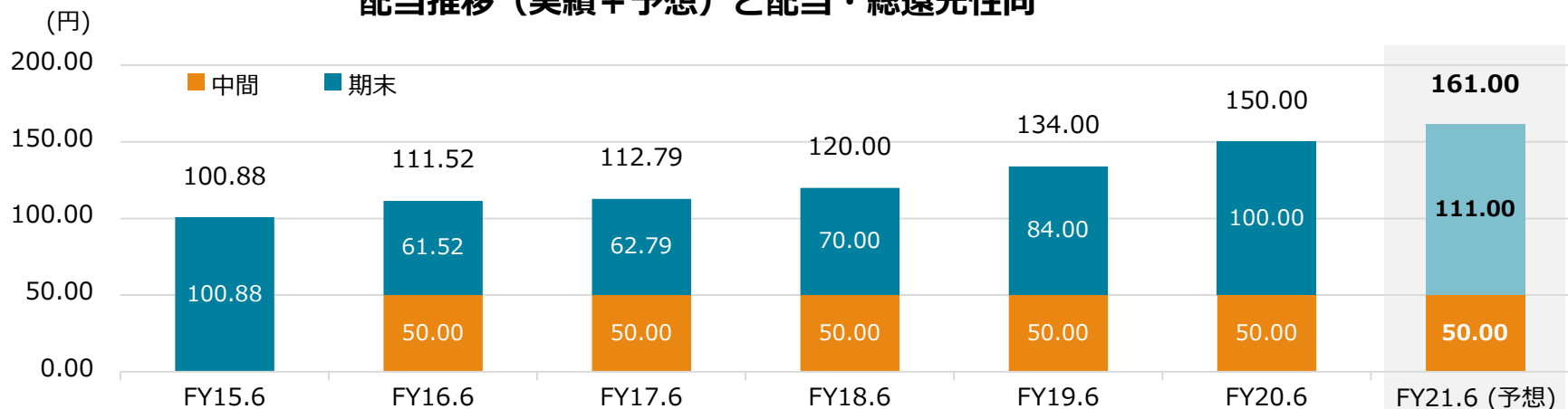
項目	R&Dアウトソーシング				施工管理アウトソーシング				国内その他				国内小計			
	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比
売上高	114,021	126,179	124,800	△1.1%	17,720	19,787	19,400	△2.0%	3,474	4,103	3,500	△14.7%	135,217	150,071	147,700	△1.6%
連結売上高に占める割合	79.1%	79.7%	79.7%		12.3%	12.5%	12.4%		2.4%	2.6%	2.2%		93.8%	94.7%	94.4%	
営業利益	10,672	12,880	13,300	+3.3%	1,938	2,109	2,850	+35.1%	416	△139	100	—	13,028	14,850	16,250	+9.4%
営業利益率	9.4%	10.2%	10.7%		10.9%	10.7%	14.7%		12.0%	△3.4%	2.9%		9.6%	9.9%	11.0%	
PPA資産償却前営業利益	10,752	12,960	13,380	+3.2%	1,938	2,517	2,850	+13.2%	416	367	100	△72.8%	13,108	15,845	16,330	+3.1%
PPA資産償却前営業利益率	9.4%	10.3%	10.7%		10.9%	12.7%	14.7%		12.0%	9.0%	2.9%		9.7%	10.6%	11.1%	
技術者数（期末時点、人）	16,748	18,471	17,470	△5.4%	2,545	2,793	2,530	△9.4%	—	—	—	—	19,293	21,264	20,000	△5.9%
うち日本在住外国籍（人）	922	1,082	—	—	63	96	—	—	—	—	—	—	985	1,178	—	—

項目	海外				報告セグメント合計				全社/消去				連結合計			
	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比	FY19.6	FY20.6	FY21.6	前年比
売上高	10,283	9,941	10,300	+3.6%	145,500	160,012	158,000	△1.3%	△1,324	△1,605	△1,500	—	144,176	158,407	156,500	△1.2%
連結売上高に占める割合	7.1%	6.3%	6.6%		100.9%	101.0%	101.0%		△0.9%	△1.0%	△1.0%		100.0%	100.0%	100.0%	
営業利益	△931	655	750	+14.4%	12,096	15,506	17,000	+9.6%	1,642	266	0	—	13,739	15,772	17,000	+7.8%
営業利益率	△9.1%	6.6%	7.3%		8.3%	9.7%	10.8%		—	—	—		9.5%	10.0%	10.9%	
PPA資産償却前営業利益	993	858	950	+10.6%	14,101	16,704	17,280	+3.4%	172	119	0	—	14,274	16,824	17,280	+2.7%
PPA資産償却前営業利益率	9.7%	8.6%	9.2%		9.7%	10.4%	10.9%		—	—	—		9.9%	10.6%	11.0%	
技術者数（期末時点、人）	1,608	1,331	—	—	20,901	22,595	—	—	—	—	—	—	20,901	22,595	—	—

株主還元

- 配当については、中間配当及び期末配当を年2回安定的に行うことを基本とし、COVID-19の影響を大きく受けるFY21.6においても、これまでと同様に年間配当の配当性向50%を維持する方針（FY21.6の中間配当は、例年通り1株当たり50円）
- 50%配当還元後のフリーキャッシュフローは、M&A等の成長投資に充当する予定だが、資本コストを上回るリターン（ROIC）を確保できる投資機会がしばらく見当たらないようであれば、資本効率性の観点から自己株取得による株主還元も柔軟に検討

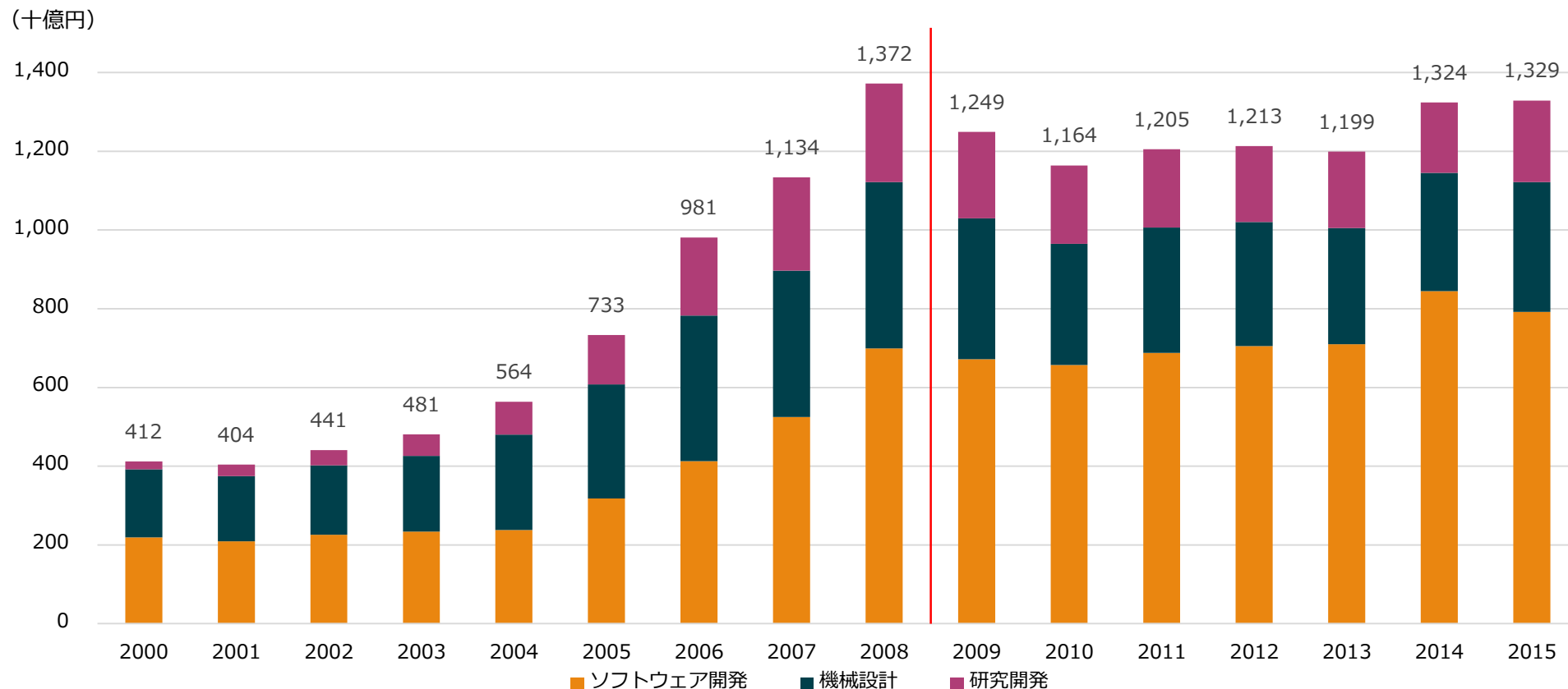
配当推移（実績＋予想）と配当・総還元性向



ROE	37.1%	32.0%	29.9%	24.5%	22.4%	23.3%	22.3%
EPS (円)	201.76	215.80	225.58	244.81	266.86	299.97	320.25
配当性向	50.0%	51.7%	50.0%	50.0%	50.2%	50.0%	50.3%
配当総額 (百万円)	3,437	3,808	3,858	4,250	4,864	5,397	5,781
自己株取得額 (百万円)	—	—	—	—	—	2,063	N/A
総還元性向	50.0%	51.7%	50.0%	50.0%	50.2%	68.9%	N/A

Appendix) 2000年以降の国内技術者派遣市場の推移

- 2008年9月に発生したリーマンショックにより、技術者派遣市場は、そのピークから一時的に約**15.2%**縮小
- 技術者派遣に対する需要は底堅く、2010年に底を打ち、それ以降は徐々に回復



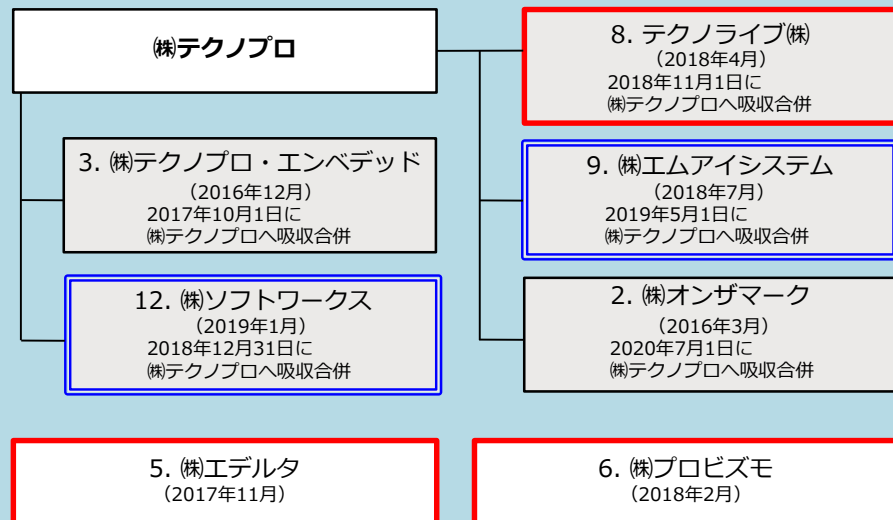
※ 年度平均単価（派遣料金）× 6月1日現在の人数 × 250日にて当社推定
※ 2016年以前の調査（特定26業種）に建設は含まれていないため、除外

出典：厚生労働省『労働者派遣事業報告書の集計結果』

Appendix) セグメント表 (2021年6月期 第2四半期末現在)

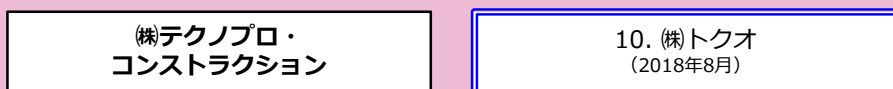
R&Dアウトソーシング

機械・電気・電子、組込制御、ITネットワーク、ビジネスアプリケーション、システム保守運用、生化学等の技術領域において、技術者派遣及び請負業務を提供



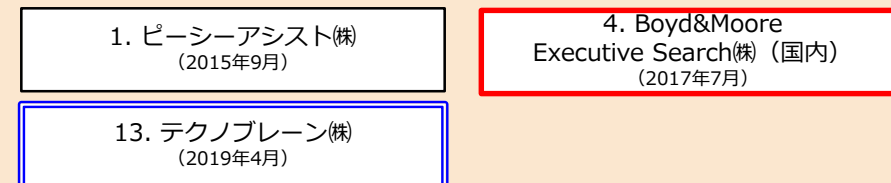
施工管理アウトソーシング

建築・土木・設備電気・プラント領域における施工管理（安全管理、品質管理、工程管理、原価管理）の技術者派遣業務、建設図面作成の請負業務を提供



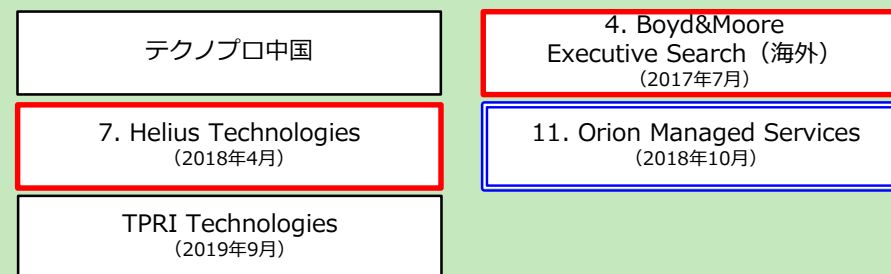
国内その他

人材紹介業務、技術系教育研修業務を提供



海外

中国にて技術アウトソーシング及び人材紹介業務、東南アジア・インドにて技術者派遣及び受託開発業務、英国にて技術者派遣及び人材紹介業務を提供



本社機能

グループ会社に対して主に管理業務を提供、障がい者雇用事業を展開



Appendix) リスク資産（2021年6月期 第2四半期末現在）

- ・ R&D/施工管理アウトソーシングセグメントの主なのれん（**292億円**）は、投資ファンドと経営陣によるMBO時に生じたもので、COVID-19の影響を反映して新たに試算した使用価値はのれんの帳簿価額を大きく上回っており、**減損リスクは極めて低い**
- ・ フロービジネスであるトクオ社とテクノブレイン社は、FY20.6にのれんの減損損失を先んじて計上し、COVID-19の影響がしばらく続いたとしても、**追加の減損リスク額は限定的**
- ・ 人材紹介事業のBoyd & Moore Executive Search社の業績も景気変動に左右されやすいが、COVID-19的环境下でも勢いのあるIT産業の顧客も多く、たとえ減損が生じたとしても、リスク額は**最大で11億円**
- ・ 海外2社の減損リスクは引き続き残るが、業績悪化はPut Option債務の公正価値を低下させ、その変動益によって一部を相殺可能

（百万円）

資金生成単位（CGU）	株式持分	のれん				PPA資産		Put Option債務	
		MBO	M&A*	合計	割合	M&A*	償却期間	M&A	価値算定期間
R&Dアウトソーシング									
機械、電気・電子領域	100.0%	13,674	977	14,651	40.5%				
組込制御、ITインフラ領域	100.0%	7,969		7,969	22.0%				
ソフト開発・保守領域	100.0%	2,912	2,768	5,681	15.7%	674	～30.3月		
化学、生化学領域	100.0%	1,262		1,262	3.5%				
施工管理アウトソーシング									
施工管理領域	100.0%	3,383		3,383	9.4%				
トクオ	100.0%		190	190	0.5%				
国内その他									
ピーシーアシスト	100.0%		96	96	0.3%				
Boyd&Moore Executive Search	100.0%		1,104	1,104	3.1%				
テクノブレイン	100.0%		151	151	0.4%				
海外									
Helius	51.0%		667	667	1.8%	609	～26.3月	1,694	17.4～22.6月
Orion	63.2%		1,015	1,015	2.8%	449	～26.9月	1,277	18.4～23.6月
合計		29,202	6,972	36,174	100.0%	1,733		2,971	

* テクノプロ社に合併した法人を含む

目次

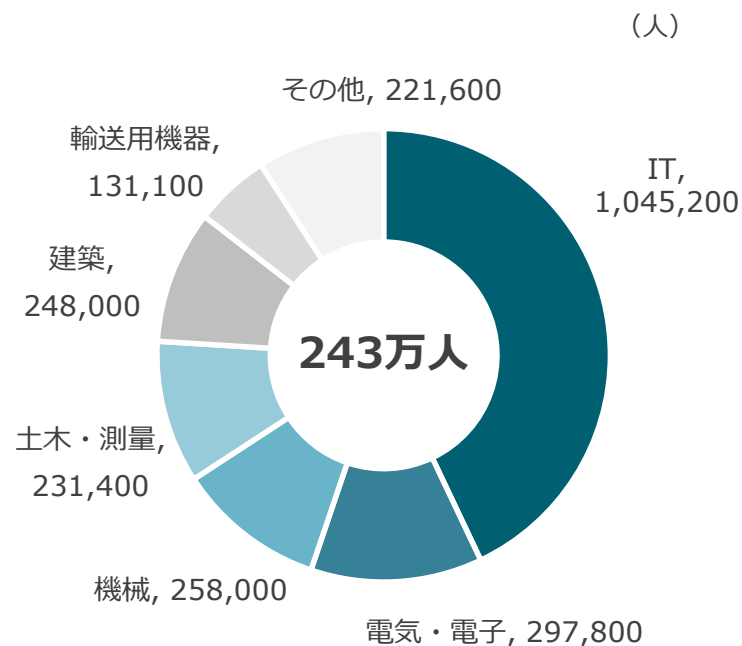
	Page
I : 業績概要	2
II : KPI分析	6
i : 技術者数・稼働率	6
ii : 売上単価	10
III : 海外子会社の状況	11
IV : 業績予想	12
V : 株主還元	14
VI : Appendix	15
VII : データ資料集	19

日本の技術者の分布

- 2015年の国勢調査によると、日本の技術者数は243万人（うち約4割をIT技術者が占める）
- 日本は他国と比べ、技術者を自社で抱えず、外部委託（アウトソース）する割合が高い

1. 日本の技術者数（2015年）

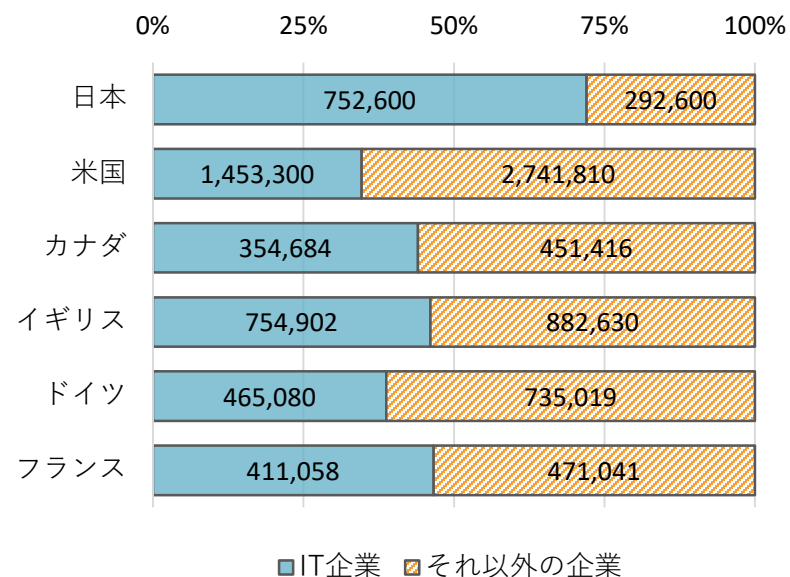
出典：『国勢調査2015年』より当社作成



2. IT企業とそれ以外の企業に所属するIT人材の割合

出典：独立行政法人情報処理通信機構『IT人材白書2017』

日本、米国、イギリス、ドイツ、フランス：2015年
カナダ：2014年



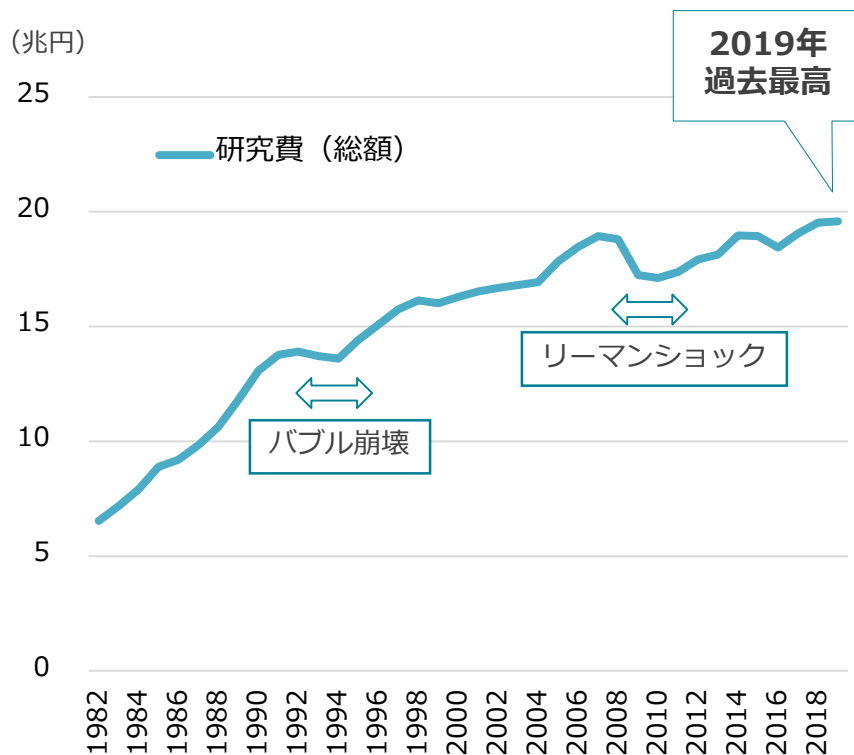
※ 「IT企業」はITベンダー、「それ以外の企業」はITを使用するユーザー企業を指す

研究開発費・ICT投資額の推移

- 研究開発は景気の影響を受けにくい分野であり、2019年は過去最高の国内研究開発費を記録し、今後も増加する見込み
- 日本のICT投資は、ハードウェアからソフトウェアに徐々に移行している

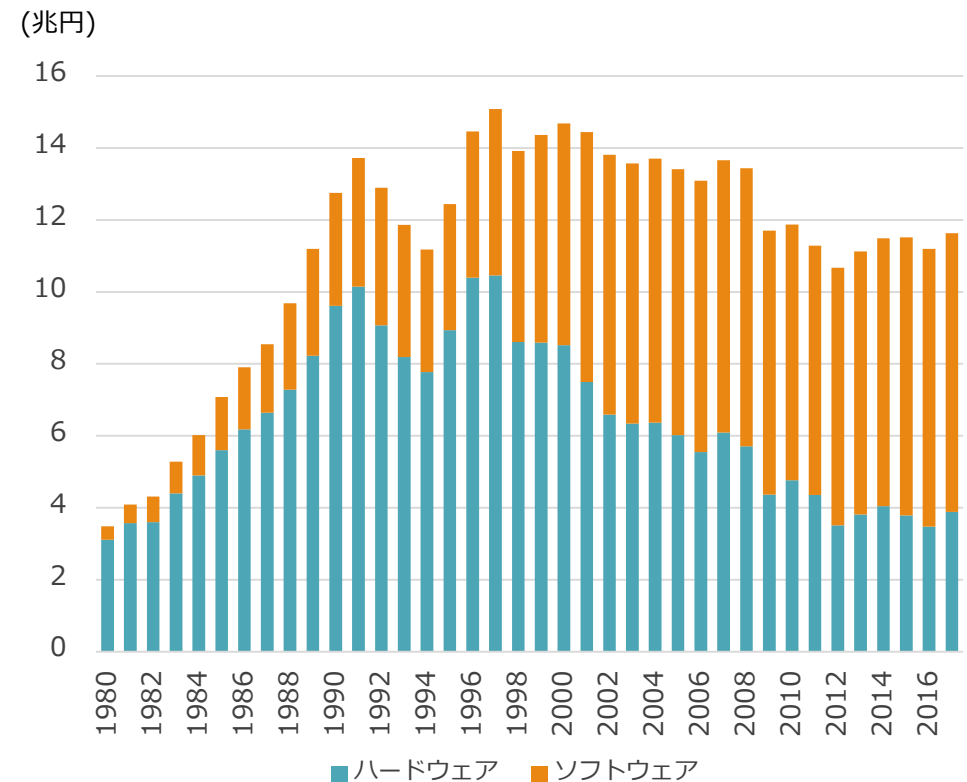
3. 国内研究開発費の推移

出典：総務省統計局『科学技術研究調査結果』



4. 国内ICT投資額のハード/ソフト内訳

出典：総務省『情報通信白書 令和元年版』

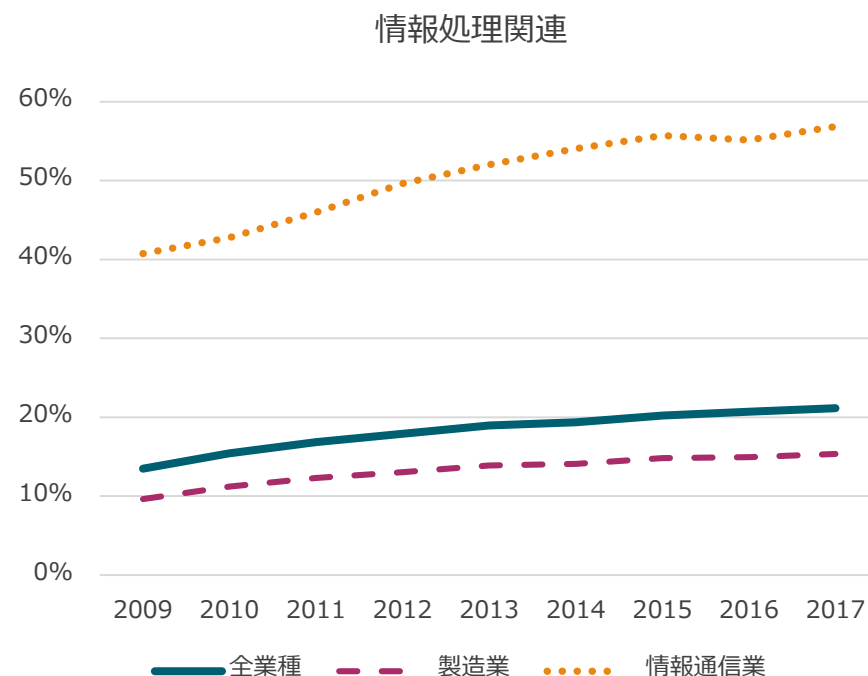
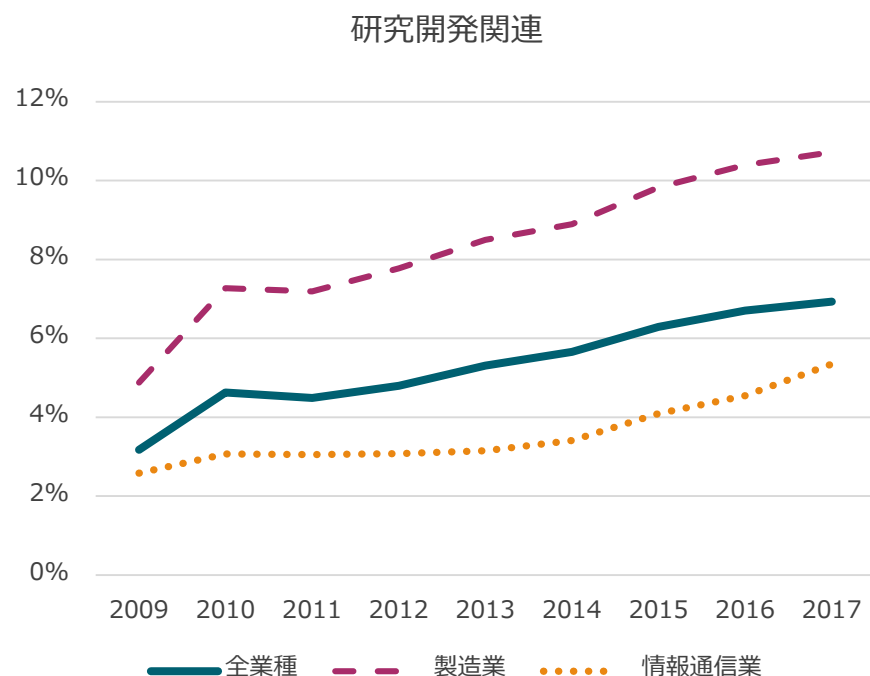


研究開発・情報処理関連における外部委託状況

- 全般的に、研究開発・情報処理関連の外部委託率は増加傾向
- 特に、情報通信業でも、情報処理関連業務を外部委託する割合が高い

5. 業種ごとの外部委託状況

出典：経済産業省 企業活動基本調査、同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2020年

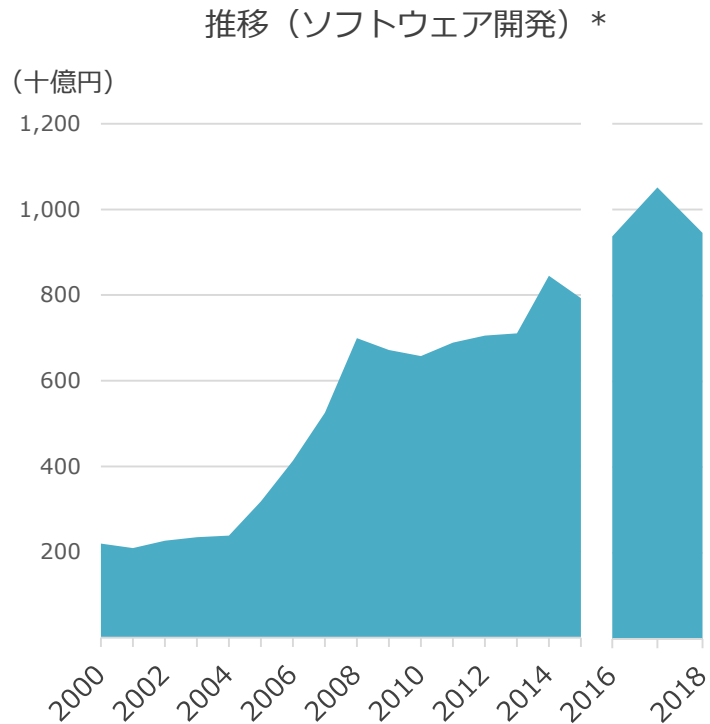


技術系人材サービスの市場規模と推移

- 日本の労働者派遣事業全体の推定市場規模は約6.5兆円（2018年）、うち技術者派遣市場は約1.8兆円、技術者数は約25万人
- 矢野経済研究所による将来予測では、技術者派遣市場は年平均成長率（CAGR）6.2%を見込む

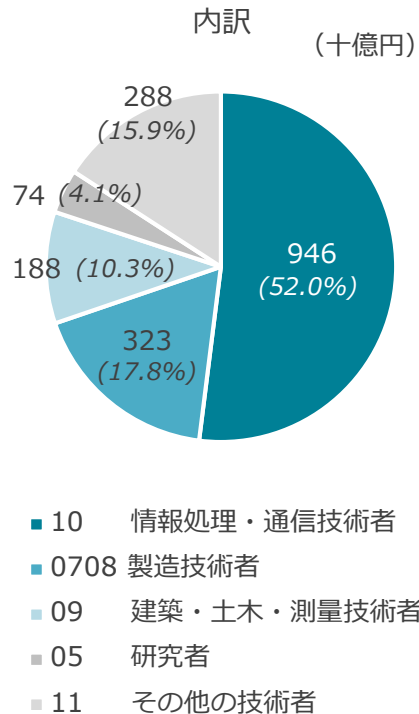
6. 技術者派遣市場

出典：厚生労働省発表に基づき当社試算



＊ 2015年9月に職種の分類が変更されたため、データが断続

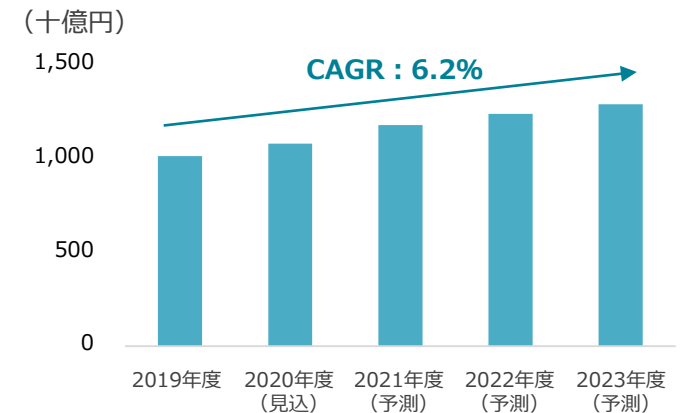
2018年 市場規模
1兆8,187億円



7. 技術者派遣市場の将来予測

出典：株式会社矢野経済研究所

『人材ビジネスの現状と展望2020年版
PART2 業種・職種別人材サービス編』



※ 事業者売上高ベース、2020年度以降は予測値
(2020年10月現在)

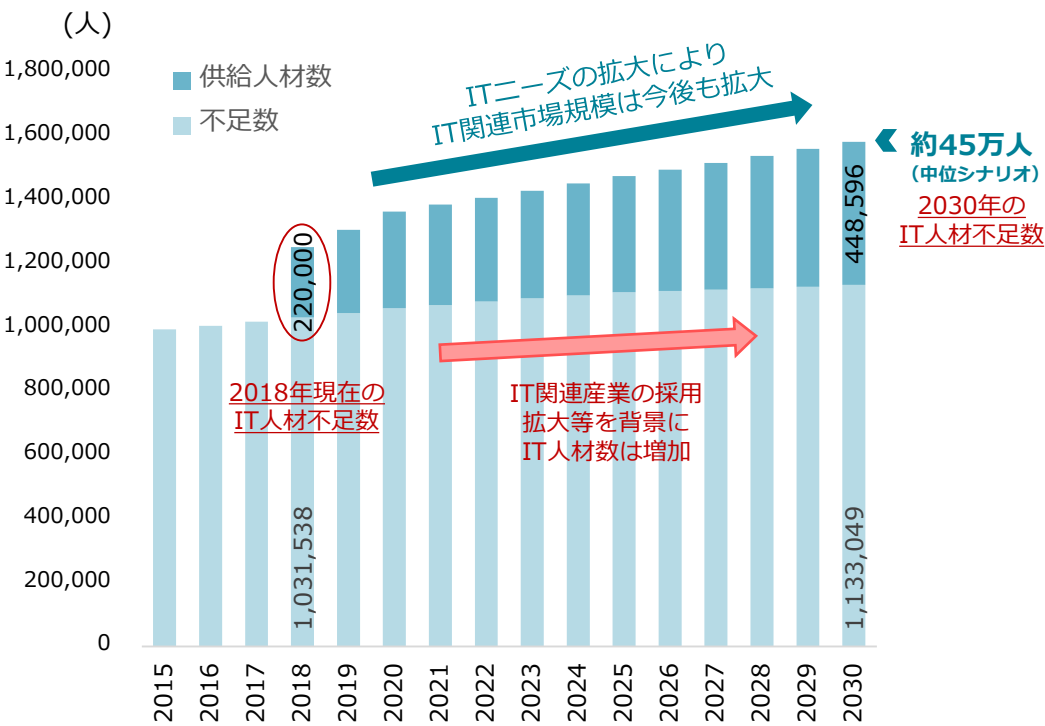
注：矢野経済研究所が独自の調査に基づいて算出した大規模事業者を中心とした市場規模であり、市場全体よりも伸び率が高い可能性あり

技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性① ニーズの増加

- 需給のミスマッチは特にIT人材で大きく、IT分野に強い企業が優位
- AI普及によるエンジニア需要の減退については、新規に創造される需要の方が多い見込み

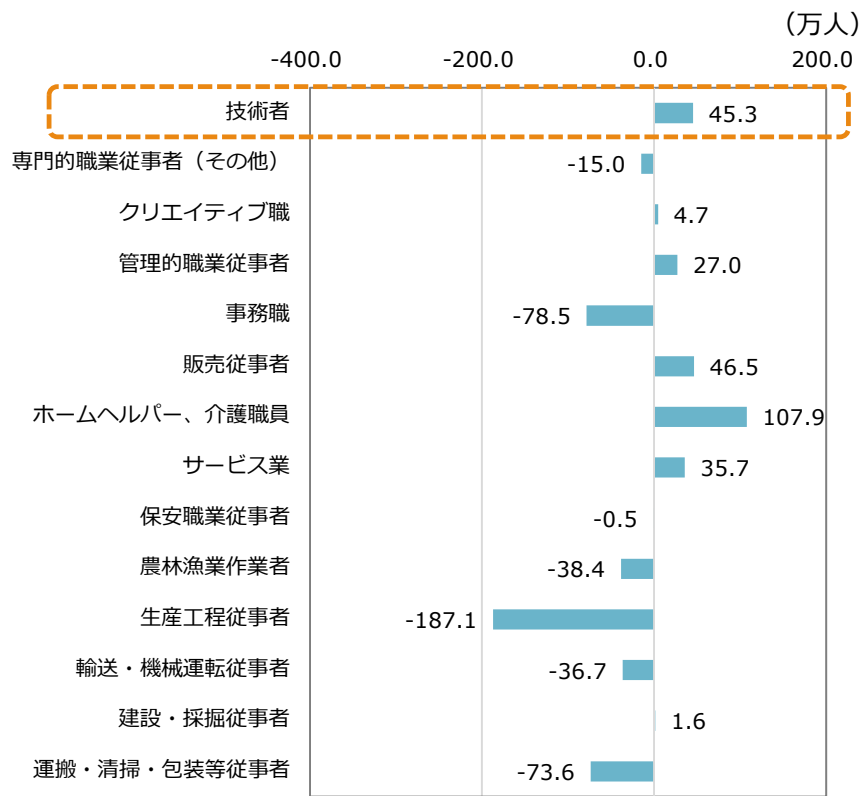
8. IT人材の不足規模に関する予測

出典：みずほ情報総研株式会社
『IT 人材需給に関する調査 調査報告書』より当社作成



9. AIの進展等による就業者の増減

出典：厚生労働省 平成29年版労働経済白書『労働経済の分析 ―イノベーションの促進とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた課題―』



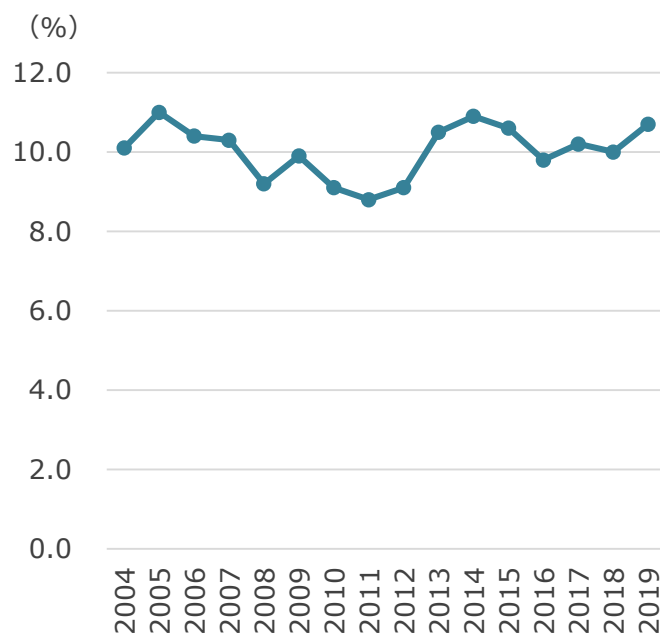
※ 職種別の就業者数は、2015年と2030年を比較した際の推計値

技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性② 中途採用市場

- 日本全体の転入职率は10%前後で推移しており、転職市場は一定の規模がある（技術者に限っては、年間20万人以上）
- IT技術者の転入职率は、相対的にその他技術者に比べて高い傾向

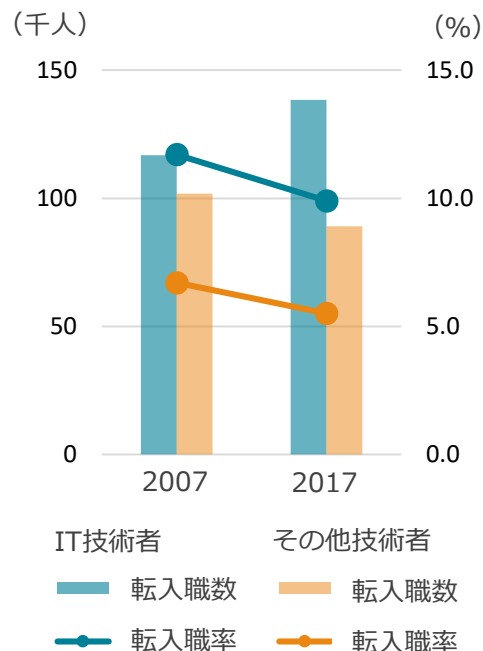
10. 転入职率の推移

出典：厚生労働省『雇用動向調査』



11. 技術者の転入职率

出典：同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2019年
『「日本の技術者の転入职者率の近年の特徴」調査報告書』



	1997	2007	2017
全職種	11.0	11.7	10.7
技術者	7.5	8.7	7.5
うちIT技術者		11.7	9.9
うちその他技術者		6.7	5.5

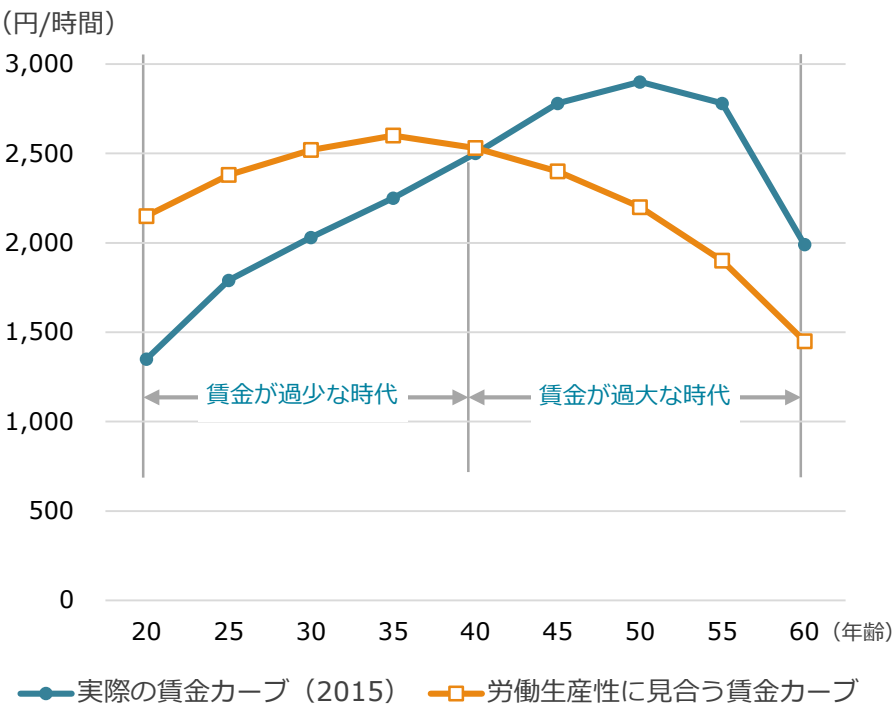
	1997	2007	2017
全職種	7,391	7,717	7,066
技術者	178	219	228
うちIT技術者		117	138
うちその他技術者		102	89

技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性② 中途採用市場（続き）

- 年功賃金と終身雇用が根強く残り、若年層の賃金は相対的に低く、中年以降で管理職になることで賃金が上昇
- 生産性と賃金の乖離から、大手企業の中途採用数は限定的

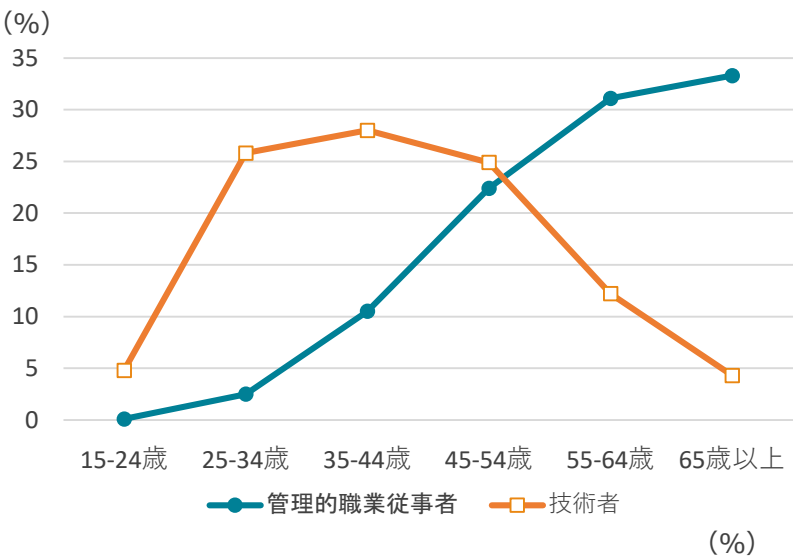
12. 年功賃金型賃金カーブと、労働生産性に見合う賃金カーブ（1時間当たり）

出典：三菱UFJモルガン・スタンレー証券投資情報部
『エクイティリサーチ転載レポート』2017年5月1日



13. 職種別年齢構成比較：管理職・技術職（2017年）

出典：同志社大学STEM人材研究センター 当社委託研究 2019年
『「日本の技術者の転入職者率の近年の特徴」調査報告書』



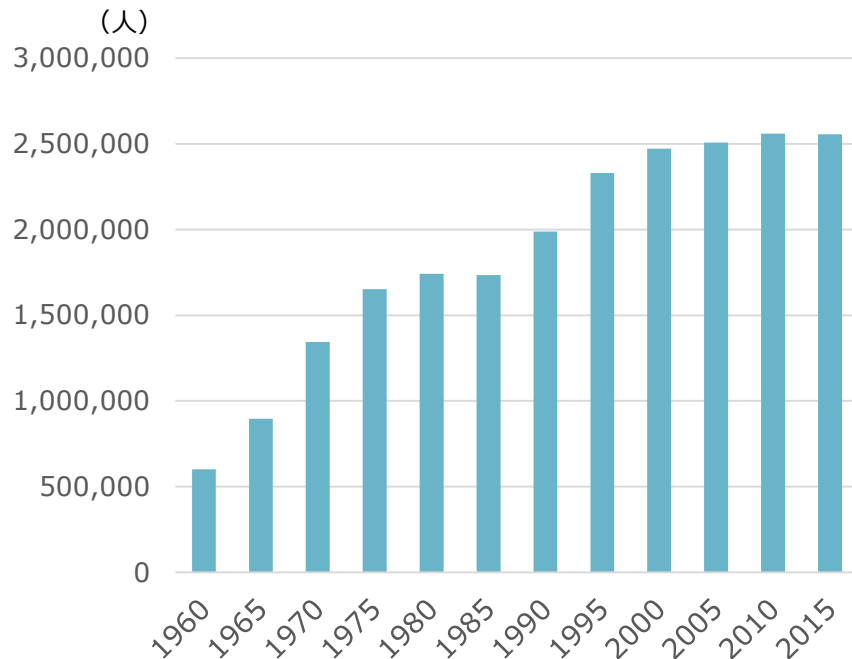
	管理的職業従事者	技術者
15-24歳	0.1	4.8
25-34歳	2.5	25.8
35-44歳	10.5	28
45-54歳	22.4	24.9
55-64歳	31.1	12.2
65歳以上	33.3	4.3

技術系人材サービスの成長の背景と当社の優位性③ 新卒採用市場

- ・ 若年人口は減少しているが、進学率の上昇により大卒人数は微増を続けている
- ・ 大手企業の大卒採用数は増えていない一方、求職者側の大手志向は根強い

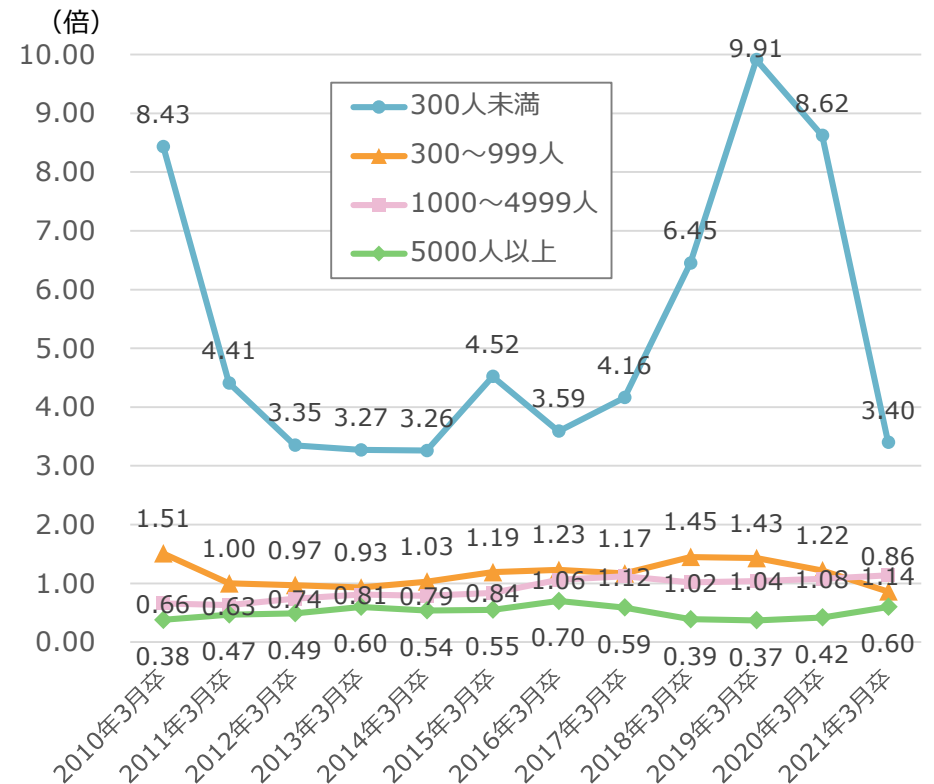
14. 大学生数の推移

出典：文部科学省『文部科学統計要覧』



15. 従業員規模別 大卒求人倍率

出典：リクルートワークス研究所『第37回ワークス大卒求人倍率調査』



免責事項

当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれていますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、複製または転送等を行わないようお願いいたします。

— お知らせ —

当社では、Webサイトにおける新着情報の更新を、メールにてお知らせするサービスを実施しております。ご希望の方は右記QRコードよりご登録をお願いいたします。



TECHNOPRO

TECHNOPRO